



小平市みどりの基本計画 2010 の概要

やさしく歩ける水と緑の美しいまち

小平市みどりの基本計画 2010 とは

「みどりの基本計画」とは、都市緑地法第4条に基づいて策定する「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」であり、都市における緑地の保全と創出、公園の整備、緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための施策等を定めた、小平市のみどりとオープンスペースに関する総合的な計画です。

「小平市みどりの基本計画 2010」では、小平グリーンロードに代表される水と緑のネットワークの充実、樹林地の保全、公園の整備、緑化の推進、そして、市民協働によるみどりのまちづくりについての取り組みが計画されており、これからの10年間に実施する水と緑のまちづくりの基本となるものです。

みどりの現況と課題

武蔵野の風情が残っている小平市では、市をほぼ一周する小平グリーンロードがみどりの骨格として機能し、都立小金井公園など大きな公園、緑地、雑木林、農地や用水路といった、さまざまなみどりがあります。これらのみどりを活かしながら、水と緑のまちづくりを進めていくために、課題を5つ設定しました。

みどりの現況	みどりの課題
<ul style="list-style-type: none">小平グリーンロード、用水路などみどりを結ぶ資源性が多くあります。雑木林など郷土的なみどりが減少を続けています。住宅地のみどりは、思ったよりも多くはありません。かつての武蔵野らしいみどりの姿が変わりつつあります。多くの市民がみどりの担い手として参加する意欲を持っています。	<ol style="list-style-type: none">水と緑のネットワークを充実するみどりを保全するみどり豊かなまちを創るみどりの質の向上を図る参加・協働の仕組みをつくる

水と緑のまちづくりの目標

市内は、7つの駅からなる市民生活圏を全長21kmの小平グリーンロードがむすんでおり、歩いて一周することができます。

そして、小平グリーンロードを起点にして、小さな用水路沿いの散策路や畑の脇の小径をめぐりながら、市内のどこにでも歩いて行くことができます。

この歩けるまち、用水路のあるまち、緑の豊かなまちという特徴をさらに活かして、花と緑を楽しみ、水を巡りながら気持ちよく歩くこと。こんな姿が実現したほんわかとした快適なまちをめざします。

水と緑のまちづくりの目標

—小平市のみどりの将来イメージ—

やさしく歩ける水と緑の美しいまち

計画の基本方針

水と緑のまちづくりの目標を実現していくためには、どのような行動をとればよいのか。基本方針は、行動に向けての考え方を示すものです。

みどりの基本計画では、次の5つの基本方針を設定しました。

基本方針1 みどりを“つなげる”

みどりの骨格である小平グリーンロードから、庭先までみどりをつなげて、みどりの恵みを市民が受けられるようにします。

基本方針2 みどりを“いつくしむ”

今ある雑木林や屋敷林、大木など、小平の歴史を語るみどりを次代へと引き継ぎます。

基本方針3 みどりを“ふやす”

花と緑が豊かなまちを目指して、市内のどこからでもみどりが見えるようなまちにしていきます。

基本方針4 みどりを“そだてる”

多様な動植物が暮らし、人に優しく生きものにもやさしい、質の高いみどりづくりをしていきます。

基本方針5 みどりを“いかす”

みどりは市民のためにあります。小平のみどりは小平の市民が育てます。

みどりの将来構造

水と緑のまちづくりの目標の実現をめざして、小平グリーンロードを中心とするみどりの骨格の機能を高め、みどりの空間が連続するようにつないでいきます。このほか、みどりの拠点をバランスよく配置するとともに、公園や雑木林などを保全・活用し、身近なところにあるみどりの空間を大切にしていきます。さらに、農地、屋敷林、雑木林など郷土的なみどりが色濃く残るところ、都市的生活と近郊農業が隣り合うところ、住宅地を中心とするところなど、都市の特性に応じて、みどりのまちづくりを進めていきます。



水と緑のネットワーク

- 骨格からみどりの軸を伸ばし、水と緑のネットワークで小平を包みます。
- それぞれのみどりの構成要素をつなげます。

みどりの拠点

- みどりの構成要素の“^{かなめ}要”として、みどりの魅力の発信拠点となります。
- まちのみどりの機能を高める中心的な役割を担います。

みどりのゾーン

- まちの特性に応じたみどりの保全・創出・育成の方向性を示します。
- ゾーンの特性を踏まえてみどりのまちづくりを進めていきます。

水とみどりのまちづくりのための施策

水と緑のまちづくりの目標の実現と、みどりの将来構造の実現のために、5つの基本方針に対応した実現のための施策の方針と重点施策を定め、みどりの保全、創出、育成などのさまざまな施策の展開を図ります。

基本方針

実現のための施策の方針

重点施策

みどりを
つなげる

みどりを切れ目なくつなぐ

- ・あかしあ通りを南北を結ぶみどりの骨格として、みどりのシンボルロードに育成する。
- ・比較的幅員の広い道路・用水路などを活用してネットワークを充実する。
- ・ネットワーク沿いを重視して緑地保全、緑化推進を進める。

- ・新みどりの骨格づくり
- ・樹林地の重点保全
- ・小平ふるさと公園づくり
- ・用水路の再整備
- ・公共施設の重点緑化
- ・オープンガーデンの推進と連携

みどりを
ついでついで

みどりを次代へ引き継ぐ

- ・減少が続く樹木・樹林の保全を重視する。
- ・樹林地の保全のために、持続的な保全手法を導入する。
- ・新田開発に由来し、農地や屋敷林からなる小平の郷土風景を将来へとつなげるための施策を検討する。

- ・特別緑地保全地区等の指定
- ・市民緑地制度の運用
- ・保存樹林等の新規適用
- ・屋敷林の保全手法の検討
- ・郷土景観保全施策の検討
- ・小平の名木の選定と育成

みどりを
ふやす

どこからでもみどりが見える

- ・今あるみどりを核にして、見えるみどりを増やしていく。
- ・身近なみどりを増やすことで、小平市全域をビオトープ化していく。
- ・多くの市民の目にふれる公共施設の沿道部の緑化を率先して展開し、みどりのまちづくりをけん引する。

- ・身近なビオトープづくり
- ・公園いきいきリニューアル
- ・花とみどりの公共施設づくり
- ・みどりの学校づくり
- ・都市計画公園の整備促進

みどりを
そだてる

質の高いみどりを育てる

- ・みどりの質の向上を図るために、みどりの育成管理手法を取りまとめ、実践する。
- ・公共施設等のみどりの質を高める手法を率先して展開する。
- ・みどりのリサイクルを推進し、剪定枝葉等を資源として積極的に活用する。

- ・市民による森のカルテづくり
- ・雑木林のクオリティアップ
- ・みどりのクオリティアップ
- ・みどりのリサイクルの推進

みどりを
いかす

みどりを市民が支える

- ・市民が連携して活動し、みどりのまちづくり活動が自立して機能するための活動の基盤づくりを行う。
- ・市民が参加する場、活動する場を多く設け、市民活動支援を通じて市民育成と普及啓発を行う。
- ・みどりのまちづくり活動により、みどりを愛するとともに、小平市への郷土意識が深まる施策を進める。

- ・市民連絡協議会等の設立支援
- ・みどりのアダプトシステム
- ・みどりづくり市民提案システム
- ・みどりのまちづくり相談システム

■ お問い合わせ ■

小平市 都市建設部 水と緑と公園課

〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目 1333 番地
TEL (042) 346-9830 FAX 042-346-9513
Eメール koen@city.kodaira.lg.jp

平成 22 年 (2010 年) 3 月